

# 自然との共生

100年先を見据えて、わたしたちが行なっている2つの活動をご紹介します。

## 01 CASIOの森

東京都水道局との協定に基づく  
社員有志の水道水源林保全活動



オリジナルTシャツや  
ステッカーを配布。  
社員の皆様に好評です!



### 目的

地球環境の重要基盤である森林。  
そこでの社会課題を水道水源林での保全作業を通じて肌感覚で学び、  
自社本業での社会課題解決を目指し、社員の健康増進を図る。

### 概要

活動場所	活動頻度	現地活動参加人数
東京都 水道水源林 (山梨県甲州市)	年3回	延190名※

### 活動内容

間伐／下刈り／ミズナラ育苗・植栽      巣箱設置・内部清掃



記録動画はこちらから  
ご覧いただけます。



環境報告  
教育啓発



私たちの  
アクション



東京都水道局  
活動報告



※出張！企業の森(東京都水道局による講演会)と「どんぐり里親活動(社員有志によるミズナラの育苗)を除く

## 02 見守り隊

カシオ計算機羽村技術センターにおける  
キンラン等絶滅危惧種保全活動



キンランを守るために  
ネット掛けをしています!

### 目的

敷地内の絶滅危惧種の創意工夫による保護活動を記録・社内共有し、  
「ネイチャーポジティブ」への貢献のための社内機運を醸成する。

### 概要

活動場所	活動および社内情報共有の頻度
カシオ計算機 羽村技術センター (東京都羽村市)	年30~40回

### 活動内容

害虫対策、人工授粉、ネット掛け、採種、播種      営巣活動(子育て)の見守り



キンラン



ギンラン



コヒロハハナヤスリ



ツミの親子

事業所の生物多様性(環境報告)  
について詳しくはこちらから。



もっと詳しく!



わたしたちの2つの活動について、  
TOKYO UPDATESに取り上げていただきました。  
サステナビリティ推進室の山岸が語っています。



# 生き物としての力を取り戻す WILD MIND GO! GO!



## 01 これからの時代に必要な力を取り戻す

「WILD MIND GO! GO!」は、“生き物としての力を取り戻すための自然体験を集めたメディア”です。  
「Feel the earth, Evolve yourself」～自然体験を通して、これからの時代に必要な、創造力、挑戦する力、くじけない力、自然との共生感を育む～という思いを持って活動しています。



## 02 多様性の時代にあった体験ができる

自然離れが叫ばれて久しく、さらに多様性の時代、典型的な自然体験を提供することが最適解なのでしょうか。料理には、日本料理、中華料理、イタリアン...などたくさん種類がありますが、“好き嫌い”はあっても“良し悪し”はありません。WILD MIND GO! GO! は、自然体験もそれと同じと考え、自然体験を多種多様にそろえることで、利用者が好きな自然体験に出会える、そんなアウトドア版のレシピサイトの形になっています。



## 03 誰もが気軽に体験できる

さらに、WILD MIND GO! GO!は料理におけるレシピサイトのように、先生がいなくても自分たちだけで自然体験ができる、そんなHOW TO形式にすることで、利用者が気軽に自然体験ができるようになっています。誰もが、いつでも、どこでも、自分のペースで、自分の好きな自然体験ができる、それがWILD MIND GO! GO!です。



## 04 体験をWebでシェアできる

自分の自然体験を「やった!レポ」として記録、みんなからの体験へのフィードバック。みんなの体験をみることが、他者理解、次への改善、挑戦へとつながります。



## 05 リアルワークショップ

年10回ほどリアルワークショップも開催しておりますので、ご興味がある方はサイトのご確認をお願いいたします。



## 06 アプリで体験の入り口をつくる

さらにカシオは、東京都公園協会に「TOKYO PARKS PLAY」というアプリを提供しています。東京学芸大学の小森伸一教授と自然体験やデジタルについて研究し、子どもに虫眼鏡を持たせると、何にでも興味を示しているいろいろなものをのぞきたくなる、そんな行動変容を促す仕組みに基づいたアプリ「TOKYO PARKS PLAY」をつくることで、もっと身近な自然に興味を持ち楽しめると考えました。



## 07 自然体験の再定義

WILD MIND GO! GO!は、週末に出かける公園や、家の近所を流れる川や空き地、路地、家の庭先、さらには家の中でさえ自然体験はできるものと再定義します。だからこそ、この東京にも緑や自然の魅力が本当は身近にあるのだと再認識してもらえればうれしいですね。その中で大人には大人の、子どもには子どもなりの楽しみ方を発見していただく。そうした自然体験の積み重ねにより、多くの人がいま地球で起きていることを自分ごととして感じ、少しでも行動を変えるようになることを願っております。

